

野球 第100回全国高等学校野球選手権記念滋賀大会

3回戦 彦根東 3-2 大津商業

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	R
大津商業	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
彦根東	0	0	0	0	0	0	1	2	X	3

劇的逆転勝利で
ベスト8進出



▲嶋崎君は5回まで投げ、2失点に抑えた。



▲8回裏、岡上君は力強いスイングで適時二塁打を放った。



▲2番手として登板した原君

ここ一番のチーム力で
勝利を引き寄せる

7月24日に皇子山球場で第100回全国高等学校野球選手権記念滋賀大会の3回戦が行われた。本校は大津商業高校と対戦し3-2で勝利した。

速報新聞

キマグレ

発行所

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

試合は0-0で迎えた4回表の相手の攻撃で動いた。一死一、二塁から安打で二塁走者が生還し先制点を奪われる。さらにこの回1点を失い、0-2と点差を広げられる。早く追いつきたい本校は5回裏、連打で一死一、二塁としてこの試合初めて得点圏に走者を進める。しかしもう1本が出ず、得点には結びつかなかった。0-2のまま迎えた7回裏の攻撃、この回先頭の3番朝日晴人君(3-4)が二塁打を放つ。その後一死三塁となり、5番高内希君(3-6)が適時打を打ち1点を返す。その後には二死満塁と一打同点のチャンスを作るも、後続が続かずこの回で同点に追いつくことはできなかった。8回裏の本校の攻撃、この回先頭の1番野寄重太君(3-4)が安打で出塁する。さらに一死二、三塁のチャンスで4番岡上士門君(3-3)がレフトの頭を越える適時打を打ち、走者二人が生還して3-2と逆転に成功した。そしてこれが決勝点となり、本校は逆転勝利を収めた。守備では先発の嶋崎詠君(3-5)が5回を投げ、6回からは2番手の原功征君(3-6)にスイッチした。8回途中からは増居翔太君(3-5)がマウンドに上がり、3試合連続の登板で打者4人をきっちり抑えた。主将の高内君はこの試合での逆転勝利について「ベンチの雰囲気も悪く焦っていたが、自信はあったので後半で得点していくことができた」と話し「もっと声をかけてみんなを楽にしたかった」と明かした。8回裏に逆転の適時二塁打を放った岡上君は「前の打者がつないでくれていた。緊張していたがしっかり打てた」と自身の打席を振り返った。この試合で先発した嶋崎君は「公式戦の登板が久しぶりで、緊張感のあるなかで試合が始まったが、良い雰囲気です試合に入れたと思う。大津商業は流れに乗ると強いチームだとわかっていたので、1点取られても落ち着いて集中して対応できた。大量失点しなくてよかった」と頬を緩めた。監督の村中隆之先生は「今回は思うようにいかなかったが、諦めずに1点差できっちり勝った。苦しみながらも勝てた良い試合だった」と感想を寄せられ、準々決勝以降の戦いについて「一つひとつ勝ち上がってやっと半分なので、一つずつベストな状態で戦えばいいと思う」と話された。